

光町の歴史散歩

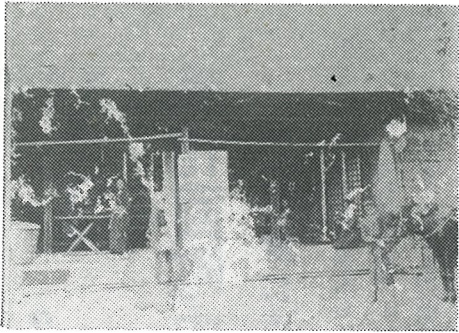
②

養蚕

かつて光町の農家では養蚕がさかに行われていました。

県の統計によると昭和五年の生産戸数が日吉村二三五戸、南条村一六八戸、東陽村二六四戸、白浜村二二八戸ありました。しかし、昭和三十年には光町全体で一五七戸、昭和五十二年には一八戸と減少しています。産繭高も昭和五年の春蚕が三九、三〇九貫、夏秋蚕が三一、四六八貫、昭和三十年は春蚕・夏秋蚕を合して四、八二〇貫、昭和五十二年は七七〇貫しかありません。

各部落では実行組合が作られ蚕業技術の向上・出荷等に協力し合



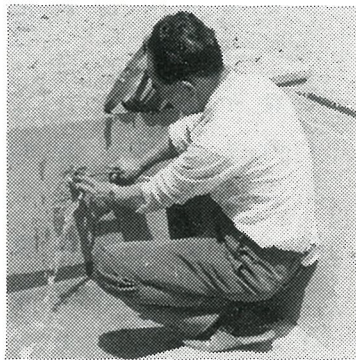
養蚕作業風景 (篠本・関口貞治氏蔵)

っていました。篠本の関口貞治さん宅にある文書の中に日吉第三区

養蚕実行組合に関係したものがあります。この組合は大日本蚕糸会や県知事から表彰されたこともあります。また尾垂の伊藤彦四郎さん宅にある文書の中に尾垂養蚕組

無料点検に感謝

八匳水道指定業者



八匳水道企業団指定業者は、水道週間(六月一日〜七日)に、水

を大切に使用していただくための運動の一環として、管内の事業所や小中学校を主として、水道施設の点検や修理を無料で行いました。これから水の需要が非常に多くなり、暖冬異変の影響で雪が少なく、水不足が心配されます。一滴の水でもムダにすることなく大切に使いましょう。

光町体育館・町営グラウンドの利用は、届出書を提出しましょう

くわしくは、公民館まで
(有)三〇五―〇一 四一―一三五八

かし大正六年から十五年までは変動がはげしく、生産費の方が繭価よりも高い年がありました。また昭和初期には二円五十銭といった安値の時もありました。

* * *

当時の養蚕組合の文書や作業風景の写真等所有されている方は総務課企画係へ御連絡ください。

有線 二〇二―〇三

慶弔

六月十五日現在受付(敬称略)

◎お誕生

篠本 行方 俊幸 輝旺 長男	篠本 赤ちゃん・父親・続柄
五ノ神 鈴木 美恵 睦夫 長女	
尾垂 伊藤真樹子 都樹雄 長女	
古屋 向後美恵子 勝 長女	
宮内 神山 普一 一夫 長男	
谷中 越川 雄一 金治 長男	
原方 加瀬三恵子 利夫 二女	
母子 越川 頼文 雅彦 長男	
長塚 鈴木 淳介 延代 二男	
作間内 石橋 慎五 清 長男	
五ノ神 鈴木 恵子 實 長女	
白磯 増田 理恵 正明 長女	
作間内 椎名 博三 正博 三男	
篠原 大木 健史 健治 二男	
白磯 川島 聡 充夫 長男	

◎ご結婚

宝米 土屋 弘美 利夫 二女	母 子 大木寛房 渡部陽子
小田部 木川 敏宏 清 長男	白磯 上田 徹 橋本薫子
傍示戸 齊藤 寛久 幸雄 二男	西高野 林 雅司 古橋綾子
木戸 大石 裕子 行雄 二女	
宝米 土屋 直恵 豊 二女	
木戸 市田 智美 勘治郎 長女	
木戸 畔蒜 宏美 毅 二女	
尾垂 今関さつき 幸雄 長女	

◎おくやみ

篠本 郡司 とよ 女 58歳	尾垂 伊藤 惣一 男 72歳	尾垂 山本 ヨネ 女 86歳	尾垂 伊藤 治郎 男 81歳	尾垂 鈴木八重子 女 41歳	尾垂 伊藤 治郎 男 81歳	尾垂 鈴木八重子 女 41歳	尾垂 伊藤 治郎 男 81歳
小川台 大津 トメ 女 75歳	二又 山本 道男 男 78歳	篠本 伊藤 惣一 男 78歳	尾垂 山本 ヨネ 女 86歳	白磯 細野 チヨ 女 94歳	新井 鈴木八重子 女 41歳	尾垂 伊藤 治郎 男 81歳	尾垂 鈴木八重子 女 41歳
小田部 錦木 いね 女 75歳							

町の状況

〈6月1日現在〉	
人口 男	5,787人 (+4)
女	5,904人 (-5)
計	11,691人 (-1)
世帯	2,838 (+1)
() 内は前月比	